

Shimizu Port News

第91号—平成25年7月31日

～愛され、選ばれる港へ～
静岡県清水港管理局

～海の月間行事を実施しました～

日本は四方を海に囲まれ、古来より海上交通や漁業をはじめとする生活、文化、産業等さまざまな分野で海と深く関わり、その恵みを受けてきました。

そこで、海の恵みに感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日として1996年に国民の祝日「海の日」が定められ、7月を「海の月間」として、全国各地でさまざまな行事が実施されました。

7月18日（木）に海の日式典において各種表彰が行われたほか、清水港管理局では、同日午後には在港船舶への歓迎訪船をしました。



海の日式典♪

海の日式典では、海事関係功労者等表彰、海の図画コンクール及び標語コンクールの表彰などが行われました。



海の図画コンクール表彰



図画コンクール作品展示



海の日歓迎訪船♪

清水港管理局長、中部運輸局静岡運輸支局次長ほか全11名で、清水港初入港の「CAPE MAHORN」を訪船しました。メッセージ、記念たて、版画、花束などを手渡し、清水港への寄港を歓迎しました。



船内で記念撮影

「清水港・富士山静岡空港セミナー」を甲府市で開催

7月19日(金)、山梨県内の荷主や物流企業等を対象に、甲府市で清水港、富士山静岡空港のPRを行いました。

静岡、山梨両県にまたがる富士山が世界遺産に登録されたことや、新興津国際コンテナターミナルが連続2バース体制になり、大型コンテナ船が2隻同時に接岸可能となったことなどに関心が集まりました。中部横断自動車道が開通すれば利便性が高まることもPRしました。



300人を超える多くの人に来てくれたよ。



清水港をPRする清水港管理局長

第1回 清水港防災対策連絡協議会の開催

7月8日(月)、大規模地震等の災害時に清水港での人的・物的被害を軽減し、港湾間の競争力低下と港背圏の経済損失を防ぐため、「清水港防災対策連絡協議会」が設置されました。清水港にかかわる民間事業者と行政機関が協力し、防災対策の見直しを進めることを目的としています。

今年度は主に、「静岡県第4次地震被害想定」の公表を受け、清水港全般の事業継続計画(BCP)を構築していく方針です。



挨拶する清水港管理局長



会議の様子



♪みなさまからのご意見やお問い合わせはこちらまで♪
〒424-0922 静岡市清水区日の出町9-25 清水港管理局 企画振興課
TEL054-353-2203 FAX054-354-0380
e-mail : port@mail.wbs.ne.jp

